

【国際文化講演会・ワークショップ】

鎌倉北条氏と南宋禅林

～ 無象静照をめぐる人びと ～

名古屋学院大学は、12月2日(土)13時30分～16時30分、本学名古屋キャンパス白鳥学舎翼館4階
クラインホールにて、立正大学文学部教授、東京大学名誉教授の村井章介(むらい しょうすけ)氏をお
招きし、一般の方を対象とした「国際文化講演会・ワークショップ／(演題)鎌倉北条氏と南宋禅林～
無象静照をめぐる人びと～」を開催します。入場無料・事前予約不要でご参加いただけます。

【講義の内容】

「無象静照(むぞう じょうしょう、1234～1306年)」という人物は、鎌倉時代の臨済宗の僧侶で、19歳で中国
宋に渡って径山(杭州)、育王山(寧波)等で13年間の修行を積み、帰国後に京都の仏心寺を開山、北条貞時
に招かれて鎌倉の浄智寺にも住持して73歳で没した、13世紀日本の国際的宗教人です。これまで取り上げら
れたことがない隠れた先人の国際感覚に触れながら、国家や宗教・民族の対立が続く21世紀現代の生き方の
指針をお話いただきます。

【講師プロフィール】

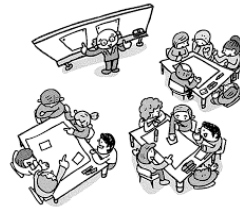
むらい しょうすけ

■ 村井 章介 氏

1949年、大阪市生まれ。東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。東京大学史料編纂所、文学部・大
学院人文社会系研究科を経て、現在、立正大学文学部教授、東京大学名誉教授。博士(文学)。専門は、日本
の対外関係史。国家の枠組みを超えた人間集団のあり方と、その理解に不可欠な港町、航路などを研究。主
著書に、『東アジアのなかの日本文化』(放送大学教育振興会)、『増補中世日本の内と外』(ちくま学芸文庫)、
『日本中世の異文化接触』(東京大学出版会)、『境界史の構想』(敬文舎)など多数。

【スケジュール】

- 13:30 開会 (13:00 開場)
- 13:40-15:10 講演会
- 15:30-16:30 講師を囲んでのワークショップ
- 16:30 閉会



※この企画は、本学が今年度から企画する「著名な国内研究者の招待講演」として、学術研究の最先端の世界を一般公開する
ものです。「講演会」では、講師が語る日本中世史研究の最高峰をご堪能ください。また、「ワークショップ」では、講師へ
の自由な質問やディスカッションを通じて国際的視野での歴史の捉え方・考え方を学ぶことができます。

【国際文化講演会・ワークショップ】

- 開催日時 : 2017年12月2日(土) 13:30～16:30 (開場 13:00)
- 開催場所 : 名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎翼館4階クラインホール
(〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号)
※地下鉄名港線「日比野駅」、名城線「西高蔵駅」徒歩約8分 駐車場はありません
- 定 員 : <講演会> 300名 (入場無料・事前予約不要)
<ワークショップ> 40名 (入場無料・事前予約不要)
- 問 合 せ : 名古屋学院大学 総合研究所 / TEL : 052-678-4089